

### 第16集 がでにを練習ワーク

ことばのテーブル100枚プリント第16集「がでにを練習ワーク」をお買い上げいただき、ありがとうございました。この教材は、助詞の意識化を促すことを、目的としたものです。日本語の基本的な格助詞である「が」「で」「に」「を」に、繰り返し触れることを通して、助詞に対する「気づき」と「知識化」を進めます。

【構成】※「問題リスト」参照のこと。

◎問題は、I.助詞発見課題(20問)、II.助詞穴埋め課題(20問)、III.助詞訂正課題(20問)、IV.状況絵なし助詞穴埋め課題(20問)、V.選択肢なし助詞穴埋め課題で構成されています。

●I～Vの各20問は、同じ構成の問題が、形式を変えて繰り返し出題されています。

●I～III、Vには状況を示す絵が配置されています。また、II～Vの課題は、助詞を書き入れる問題で、かな文字の書字能力が求められますが、II～IVまでは、プリント下段の選択肢の助詞を、切り貼りする方法での解答も可能です。

●IからVの課題は、助詞の意識化の進展に沿って配置されています。I→Vへと順を追って、進めていただければと思います。

●問題は、すべて、ひらがなのみで表記されています。



【使い方】※「使用例1・2」参照のこと。

I.助詞発見課題 (【が・で・に・を に、○をつけよう】)

状況絵を表す問題文を読み、その中から、「が・で・に・を」の助詞を探して、○をつけます。

II.助詞穴埋め課題 (【が・で・に・を を、いれよう】)

状況絵を見て、問題文の( )に、「が・で・に・を」の中から適切な助詞を選択し、書き入れます。

III.助詞訂正課題 (【が・で・に・を を、なおそう】)

状況絵を見て、問題文中の誤った助詞を、正しい助詞に訂正します。

IV.状況絵なし助詞穴埋め問題 (【が・で・に・を を□に、いれよう】)

問題文を読んで、□に、「が・で・に・を」の中から適切な助詞を選択し、書き入れます。

V.選択肢なし助詞穴埋め課題 (【( )のなかに、じよしを、入れよう】)

状況絵を見て、問題文の( )に、適切な助詞を想起して、書き入れます。



【対象】この教材を開始するにあたって、お子さんに以下の能力が必要です。

①文字能力に関して:特殊表記を含めたひらがな単語～単文の読解能力が必要です。

また書字については、ひらがな文字の書字能力が求められますが、選択肢の切り貼りによる解答も可能です。

②語彙能力に関して:日常基本単語についての一定の理解力があることが望めます。

【この教材の目的と意義】 \*「がでにを練習ワークの解答から見たタイプ分け」もご参照ください。

まず、助詞の存在に気づき、次に、助詞の種類に気づき、さらに、それぞれの助詞の用法に気づく、ことを目的としています。ひとつひとつの問題の答えを“覚える”ことが、直接の目的ではありません。ワークの学習を通して、助詞への意識が向上し、結果として、文法(助詞)の習得が進んで行くこと、が、「がでにを練習ワーク」の学習意義と考えています。

#### ☆ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を指導室での学習や家庭で行うホームワーク教材として使用しています。

※教材集の無断複製・販売は、ご遠慮ください。

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方のための学習室です。

≪企画・製作 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル≫

●企画・制作責任 三好純太 制作スタッフ:島本佐保

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp

□この教材集に対するご意見・ご感想・ご要望をお聞かせください。